

港区の給与・定員管理等について

1.総括

(1)人件費の状況(普通会計決算)

区 分	住民基本台帳人口 (平成28年1月1日現在)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	(参考) 26年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
平成 27 年度	243,977	119,971,292	9,222,745	18,641,277	15.5	12.7

(注) 人件費には、特別職(区長、区議会議員等)に支給される給料、報酬等も含まれています。

(2)職員給与費の状況(普通会計決算)

区 分	職員数 (A)	給与費				1人あたりの 給与費 (B/A)	(参考) 特別区平均 1人あたり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成 27 年度	2,005	7,055,198	2,867,374	3,204,148	1,312,672	6,550	6,990

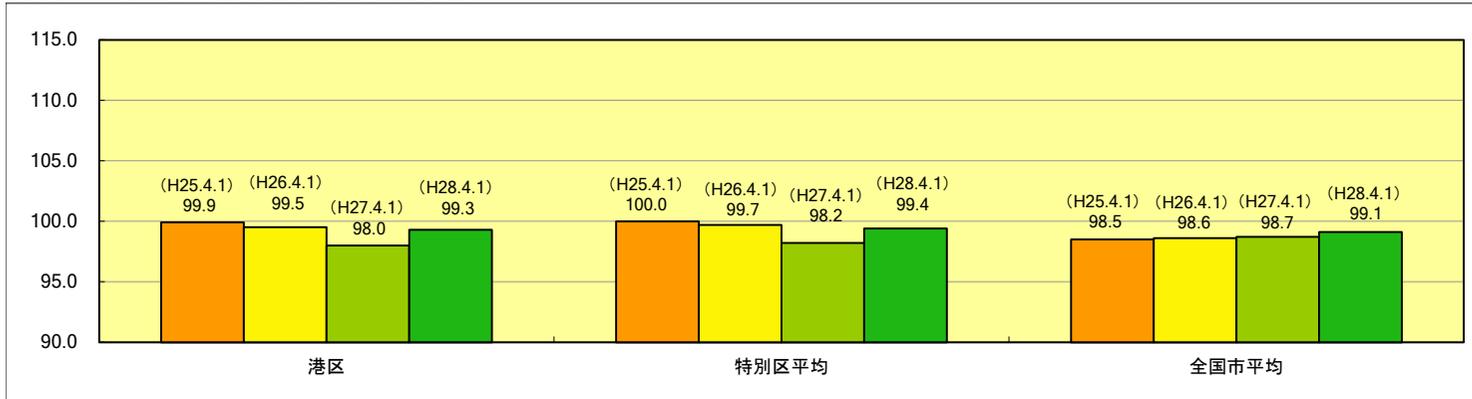
(注)1 職員手当には、退職手当は含まれていません。

2 職員数は、「地方公務員給与実態調査」による平成27年4月1日現在の普通会計に属する職員の人数です。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員は含まれていません。

4 給与費欄については、1,000円未満切り上げのため各項目の合計と計(B)が一致しない場合があります。

(3)ラスパイレ指数の状況(各年4月1日現在)



(注)1 ラスパイレ指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
 2 平成25年は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値です。
 ※平成28年4月1日のラスパイレ指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、
 ②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

(4)給与改定の状況

①月例給

区分	特別区人事委員会の勧告				給与改定率
	民間給与 (A)	公務員給与 (B)	較差 (A-B)	勧告 (改定率)	
平成 28 年度	円 398,339	円 397,755	円 584 (0.15%)	% 0.15	% 0.15

(参考) 国の改定率
0.17%

(注)「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレ比較した平均給与月額です。

②特別給(期末・勤勉手当)

区分	特別区人事委員会の勧告				年間支給月数
	民間の支給割合 (A)	公務員の支給 月数 (B)	較差 (A-B)	勧告 (改定月数)	
平成 28 年度	月分 4.42	月分 4.30	月分 0.12	月分 0.10	月分 4.40

(参考) 国の年間 支給月数
月分 4.30

(注)「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数です。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】 国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

[~~実施~~ 未実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

給料表の改定実施時期 平成27年4月1日

給料月額について、地域手当の支給割合の引上げ分と同率程度引下げ。

② 地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合） 国基準20%に対し、港区においても20%を支給（国は段階的に支給割合を引上げ。）。
（実施時期） 平成27年4月1日より実施。

（参考）

	平成26年度の支給割合	平成27年度の支給割合		平成28年度の支給割合
		4月1日時点	遡及改定後	
国基準による 支給割合	18%	18%	18.5%	20%
港区の 支給割合	18%	20%	20%	20%

③ その他の見直し内容

期末・勤勉手当について、年間の支給月数を0.1月引き上げ、引上げ分については勤勉手当に割振り。

(6) 特記事項

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成28年4月1日現在)

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
港区	41.7歳	309,087 円	426,696 円	381,471 円
東京都	41.6歳	316,682 円	452,041 円	398,107 円
国	43.6歳	331,816 円		410,984 円
特別区平均	41.8歳	312,081 円	433,738 円	392,488 円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)	A/B
港区	51.3歳	229人	304,500円	405,863円	380,471円	-	-	-	-
うち清掃職員	48.9歳	104人	306,300円	422,461円	388,624円	廃棄物処理業従業員	45.3歳	290,300円	1.46
うち学校給食員	51.4歳	17人	302,600円	390,041円	374,441円	調理士	40.8歳	304,000円	1.28
うち守衛	55.0歳	4人	317,200円	431,100円	387,800円	守衛	58.6歳	271,200円	1.59
うち用務員	52.8歳	81人	299,800円	388,201円	370,357円	用務員	55.2歳	199,900円	1.94
うち自動車運転手	55.7歳	12人	325,000円	413,567円	397,792円	自家用乗用自動車運転手	56.3歳	310,600円	1.33
うちその他	55.6歳	11人	298,900円	385,209円	365,736円	-	-	-	-
東京都	48.8歳	1510人	292,729円	395,396円	364,033円	-	-	-	-
国	50.4歳	2876人	287,447円	-	329,358円	-	-	-	-
特別区平均	50.7歳	317人	302,022円	405,234円	376,495円	-	-	-	-

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
港区	-	-	-
うち清掃職員	6,736,932円	3,968,100円	1.70
うち学校給食員	6,244,492円	4,145,800円	1.51
うち守衛	6,914,400円	3,632,300円	1.90
うち用務員	6,294,312円	2,732,900円	2.30
うち自動車運転手	6,799,204円	4,182,100円	1.63
うちその他	6,109,708円	-	-

*「平均給料月額」とは、平成28年4月現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
 *「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当を合計したものであり地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。また「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

- * 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。(平成25年～平成27年の3ヶ年平均)
- * 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。
- * 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

③教育職(幼稚園教育職員)

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
港区	36.9歳	308,011 円	409,982 円
東京都	40.8歳	341,433 円	441,721 円
特別区平均	37.9歳	320,913 円	428,779 円

(注)1 「平均給料月額」とは、平成28年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などすべての諸手当を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

3 教育職における東京都のデータは、小中学校教育職員の平均値です。

(2)職員の初任給の状況(平成28年4月1日現在)

区 分		港 区	東 京 都	国
一般行政職	大学卒	181,200 円	181,200 円	総合職 181,200円
	高校卒	144,600 円	144,600 円	144,600 円
技能労務職	高校卒	136,500 円	142,000 円	-
教育職 (幼稚園教育職員)	大学卒	194,000 円	-	-
	短大卒	176,600 円	-	-

(3)職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成28年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	274,817 円	324,136 円	354,083 円
	高校卒	227,400 円	267,800 円	308,275 円
技能労務職	高校卒	233,900 円	222,600 円	281,480 円

(注)1 経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいいます。

2 前職等のある場合は、特定の基準により採用後の年数に加えます。

3 技能労務職の経験年数10年は、対象者が少数のため、経験年数12年の数値です。

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(平成28年4月1日現在)

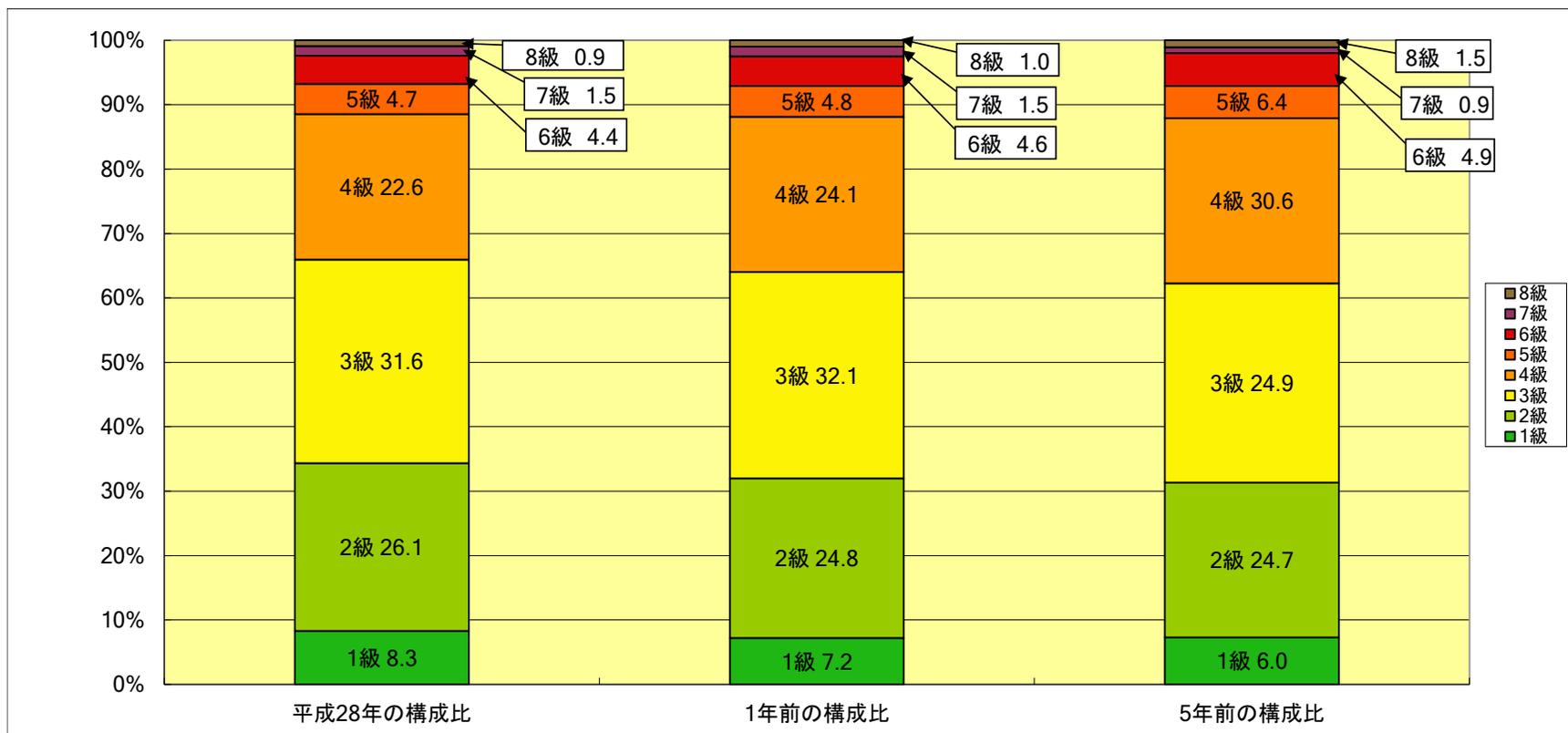
区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	係員の職務	102人	8.3%	140,000円	300,000円
2級	高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職員の職務	322人	26.1%	167,800円	333,300円
3級	主任主事の職務	390人 (45人)	31.6% (70.3%)	195,700円	363,700円
4級	係長、担当係長又は主査の職務	279人 (16人)	22.6% (25.0%)	217,000円	406,100円
5級	総括係長の職務	58人	4.7%	-	427,900円
6級	課長、担当課長又は副参事の職務	55人	4.4%	253,800円	441,400円
7級	統括課長の職務	19人	1.5%	281,900円	454,900円
8級	部長、担当部長又は参事の職務	11人 (3人)	0.9% (4.7%)	334,800円	512,300円

(注)1 職員数は、「港区職員の給与に関する条例」に基づく給料表の級区分によるものです。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

3 四捨五入の関係で、構成比の内訳は合計と一致していません。

4 ()内は、再任用職員であり、外数です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成28年4月2日から平成29年4月1日までににおける運用	港区		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用	○	○	○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない				

4 職員の手当の状況

(1) 期末・勤勉手当

区分	港区		東京都		国	
1人当たり 平均支給額(27年度)	1,782千円		1,776千円			
平成27年度 支給割合	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
	2.60月分 (1.45月分)	1.70月分 (0.80月分)	2.60月分 (1.45月分)	1.70月分 (0.80月分)	2.60月分 (1.45月分)	1.60月分 (0.75月分)
	期末・勤勉合計		期末・勤勉合計		期末・勤勉合計	
	4.30月分(2.25月分)		4.30月分(2.25月分)		4.20月分(2.20月分)	
加算措置の状況	役職等による加算措置有					

(注)()内は、再任用職員に係る支給割合です。

○勤勉手当への勤務成績の反映状況(一般行政職)

平成28年度中における運用	港区		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の成績率も適用	○	○	○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない				

(2)退職手当(平成28年4月1日現在)

区分	港区		東京都		国	
	自己都合	定年・勸奨	自己都合	定年・勸奨	自己都合	定年・勸奨
勤続20年	18.50月分	25.50月分	23.50月分	23.50月分	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.00月分	34.25月分	31.50月分	31.50月分	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.25月分	49.55月分	45.00月分	45.00月分	41.325月分	49.59月分
最高限度額	41.25月分	49.55月分	45.00月分	45.00月分	49.59月分	49.59月分
その他の 加算措置	定年前早期退職者に対する特例措置(2%~20%加算)					
1人当たりの 平均支給額 (平成27年度)	2,249,045 円	21,595,666 円				

(3)地域手当(平成28年4月1日現在)

支給実績(平成27年度決算)		1,578,409千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算)		754,137 円
支給対象地域	支給率	支給対象職員
港区	20.0%	2,093人
地域手当補正後ラスパイレス指数		99.3
(ラスパイレス指数)		99.3

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数です。

(補正前のラスパイレス指数×(1+港区の地域手当支給率)÷(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

(4) 特殊勤務手当(平成28年4月1日現在)

支給実績(平成27年度決算)		18,833千円	
支給職員一人当たり平均支給年額(平成27年度決算)		129,882円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成27年度)		6.90%	
手当の種類(手当数)		7	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
訪問指導業務手当	福祉事務所に勤務する訪問員、指導員等	生活保護法、身体障害者福祉法等に定める業務を行うための家庭訪問	日額470円
特定危険現場業務手当	支給対象業務に従事した職員	建築物等の建設現場における工事監督又は検査の業務等	日額240円～410円
公害検査業務手当	公害行政を主管する課に勤務する職員	大気汚染防止法等に基づく公害の検査業務	日額220円
防疫等業務手当	保健所に勤務する職員	感染症予防法に定める感染症等の患者等に接触する業務	日額310円～670円
放射線業務従事手当	保健所に勤務する職員	エックス線操作の業務	日額650円
有害物等取扱手当	保健所に勤務する職員	有害な薬物を使用した試験等	日額310円
清掃業務手当	清掃事務所に勤務する職員	廃棄物の処理を直接行う業務等	日額700円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(平成27年度決算)	701,922千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算)	615,182円
支給実績(平成26年度決算)	706,913千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算)	538,395円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(27年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含みます。

(6) その他手当(平成28年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成27年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額	
扶養手当	配偶者	13,700円	異	金額 13,000円	137,251 千円	198,915 円
	配偶者以外2人まで	6,000円	異	金額 6,500円		
	その他	6,000円	異	金額 6,500円		
	16歳~22歳の子の加算	4,000円	異	金額 5,000円		
住居手当	賃貸住宅		異	(支給限度額) 賃貸住宅 27,000円	100,750 千円	84,593 円
	27歳まで	27,000円				
	28歳~32歳	17,600円				
	33歳から	8,300円				
通勤手当	運賃相当額 (支給限度額 1ヶ月につき55,000円)	同		362,129 千円	186,568 円	
管理職手当	部長	127,600円			127,022 千円	1,134,129 円
	課長	91,100円				
	幼稚園園長	89,600円				
	幼稚園副園長	64,700円				

5 特別職の報酬等の状況(平成28年4月1日現在)

区 分		給料月額等	(参考)特別区における最高・最低額	
			(最高額)	(最低額)
給料	区長	1,253,000 円	1,253,000 円	973,500 円
	副区長	1,008,000 円	1,013,500 円	827,500 円
報酬	議長	905,000 円	956,000 円	858,600 円
	副議長	783,000 円	813,000 円	753,700 円
	議員	613,000 円	621,000 円	587,200 円
期末手当	区長	6月期 12月期 3月期 計	1.65月分 1.75月分 0.25月分 3.65月分	
	副区長			
	議長			
	副議長			
	議員			
退職手当		(算定方式)退職の日における給料月額 に次に掲げる割合を乗じて得た額	1期の手当額	支給時期
	区長	勤続期間1年につき 449/100	22,500千円	任期满了時
	副区長	勤続期間1年につき 359/100	14,470千円	

(注)1 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給割合に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

2 期末手当の支給割合は、平成27年度に支給された割合です。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

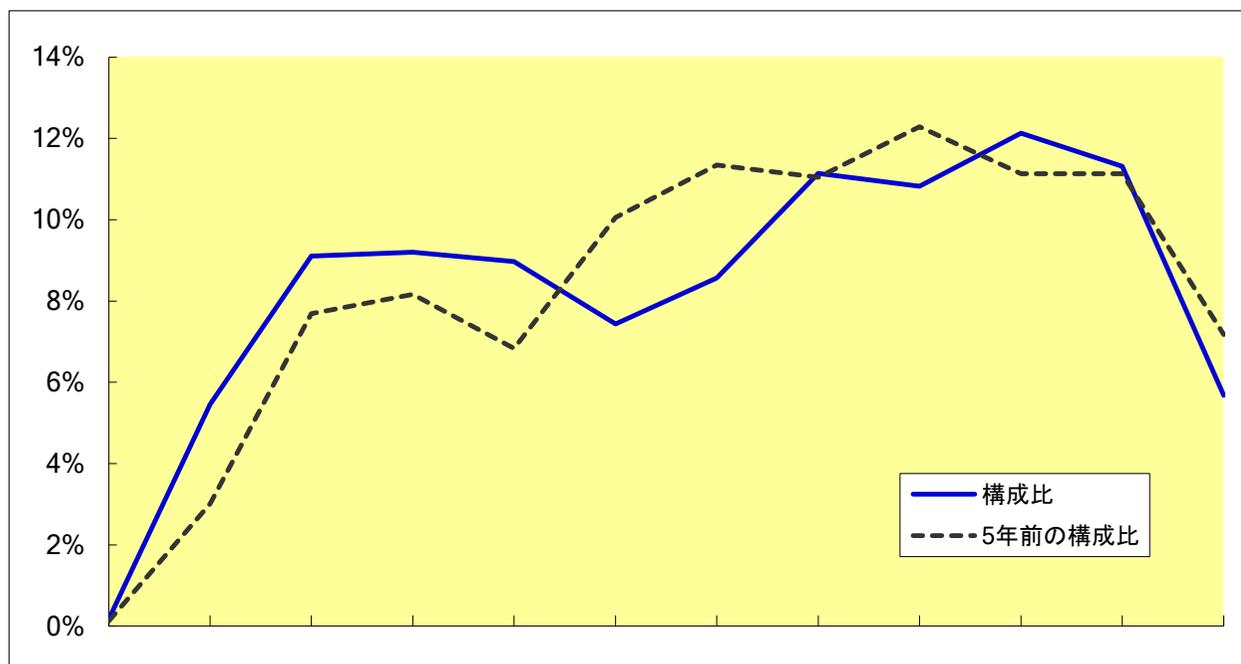
(各年4月1日現在)(単位:人)

区 分 部 門		職員数		増 減 状 況	
		平成27年	平成28年	対前年比	主な増減理由
普通会計部門	議 会	14	13	△ 1	人員配置の変更(退職による減)
	総務・企画	484	497	13	運営体制の見直し、人員配置の変更(派遣職員の増)等
	税 務	66	67	1	人員配置の変更(再任用短時間勤務職員から常勤職員への配置変更)
	民 生	633	640	7	運営体制の見直し、人員配置の変更(育休任期付職員の増)等
	衛 生	271	268	△ 3	運営体制の見直し、人員配置の変更(常勤職員から再任用短時間勤務職員への配置変更)等
	労働・商工	23	22	△ 1	運営体制の見直し
	土 木	210	210	-	
	計	1,701	1,717	16	
	教育部門	304	305	1	運営体制の見直し
	消防部門	-	-	-	
小 計	2,005 (95)	2,022 (83)	17 (△12)		
公営企業等 会計部門	国保事業	42	41	△ 1	人員配置の変更(育休任期付職員の減)
	介護保険事業	41	40	△ 1	人員配置の変更(常勤職員から再任用短時間勤務職員への配置変更)
	後期高齢者医療事業	12	10	△ 2	人員配置の変更(育休任期付職員の減)
	小 計	95 (1)	91 (2)	△4 (1)	
合 計	2,100 (96)	2,113 (85)	13 (△11)		

(注)1 職員数は、一般職に属し、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員(一部事務組合派遣を除く)等を含み、臨時・非常勤職員を除いています(地方公共団体定員管理調査報告数値)。

2 ()は再任用職員(短時間勤務職員)で外数です。

(2) 年齢別職員構成の状況(平成28年4月1日現在)



20歳未満 20歳～23歳 24歳～27歳 28歳～31歳 32歳～35歳 36歳～39歳 40歳～43歳 44歳～47歳 48歳～51歳 52歳～55歳 56歳～59歳 60歳以上

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	4人	121人	202人	204人	199人	165人	190人	247人	240人	269人	251人	126人	2,218人

(注) 再任用・再雇用職員、派遣職員を含みます。

(3) 職員数の推移

(各年4月1日現在)(単位:人・%)

年度 部門別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	過去5年間 の増減数(率)
一般行政	1,721	1,700	1,663	1,691	1,701	1,717	△4(△0.2%)
教育	343	316	311	302	304	305	△38(△11.1%)
消防	-	-	-	-	-	-	-
普通会計計	2,064	2,016	1,974	1,993	2,005	2,022	△42(△2.0%)
公営企業等会計	88	89	88	92	95	91	3(3.4%)
総合計	2,152	2,105	2,062	2,085	2,100	2,113	△39(△1.8%)

- (注)1 各年における地方公共団体定員管理調査において報告した部門別職員数です。
2 「過去5年間の増減数(率)」とは、平成23年に対する平成28年の数値となります。